

「岐阜県生涯学習振興指針」(案) 概要

◎ 本県の生涯学習の現状と課題

- ・平成19年から継続して取り組んできた「地域づくり型生涯学習」は、地域の理解を得て9割の市町村が**必要である**と考えている。
- ・**人生100年時代**、人口減少、少子化・高齢化の進行により、**社会や地域が大きく変化**しており、そこに暮らす**人々の生き方や価値観も多様化**している。
- ・つながりの希薄化により学びが個々にとどまっており、地域課題解決のための**協働活動を推進する人材が不足**している。
- ・**住民相互のつながりによる持続可能な地域**を目指し、**世代を超えた取り組みの支援**が必要である。
- ・**新型コロナウイルス感染症**などの状況下においても、**継続的な学び**が行えるよう**ICT活用等**の支援策を市町村等と**一体となって取り組む**必要がある。

◎ 今後の方向性

- ・**継続性**：地域の実状に応じた「地域づくり型生涯学習」の継続的な展開・発展
- ・**多様性**：県民一人ひとりが自分のライフステージに応じて学び続けることができる環境づくりの整備（高齢者、障がい者、外国人など）
- ・**連携性**：公民館、大学等高等教育機関、NPO等をはじめとする様々な生涯学習拠点・組織が相互に連携・協力し、住民等に対する支援機能を強化
- ・**伝搬性**：先進的な取組事例などをはじめ、生涯学習に関する様々な情報の収集及びそれらの情報をより適切な媒体で発信

1 基本理念、基本方針など

【基本理念】

「地域づくり型生涯学習」の学びの輪がつながり
「清流の国ぎふ」の豊かな未来

※【**地域づくり型生涯学習**】：個人が生涯学習を通じて身に付けた知識・技術・経験等を、防災・防犯、子育て支援、青少年育成、高齢者福祉、環境美化、伝統文化の継承、まちづくり等の地域課題の解決のために役立てていく生涯学習のことを、本県では「地域づくり型生涯学習」と呼び、重点的に推進しています。

【基本方針】

- 1 多様な学びの一步づくり
(生涯に渡り、あらゆる世代・主体が学ぶための機会・情報の提供など)
- 2 「清流の国ぎふ」を支えるつながりづくり
(「清流の国ぎふ」の魅力を知る学びによる地域・コミュニティを支えるつながりづくりなど)
- 3 持続可能な社会を支える地域づくり
(地域実態に応じ、連携・協働した地域課題の解決による地域の形成など)

2 全体構成

- ・第1章 策定にあたって（趣旨、位置づけ、対象期間、「地域づくり型生涯学習」とは）
- ・第2章 指針の全体像（基本理念、基本方針、施策の方向性）
- ・第3章 各主体に期待される役割
(個人、団体、学校、大学等高等教育機関、企業、社会教育施設、市町村、県)
- ・第4章 施策の推進
- ・参 考 県の生涯学習を取り巻く現状と課題

3 改定案の主な特徴

- ・「**地域づくり型生涯学習**」の**継続的な展開・発展**
- ・**SDGs**（誰一人取り残されない社会）の観点を踏まえ、**高齢者、障がい者、外国人など、あらゆる県民の生涯学習を推進**
- ・**人生100年時代、超スマート社会（Society5.0）**に向け、**個々のライフステージに応じた生涯学習を推進**
- ・**新型コロナウイルス感染症など不確実性高まる状況下**でも、対面による学びに加え、**ICT活用等による生涯学習を推進**
- ・これらを実践していくため、これまで以上に、**多様な主体が連携・協力し、地域と一体となって生涯学習を推進**